

平成29年1月5日

新年のご挨拶

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会
専務理事 佐藤 四郎



新年明けましておめでとうございます。

平成29年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は東日本大震災より5年が経過しましたが、また大きな地震災害がおきました。4月に熊本地震が発生して大変な被害がありました。10月には鳥取地震があり更に福島県沖の地震も発生しており地震に対する防衛、訓練などを保安項目に入れ対応策を講じる必要性を感じました。

国際的な話題では何と言ってもアメリカ大統領選挙でしょう。大方の予想を裏切りトランプ氏が次期大統領に選ばれました。トランプ次期大統領が1月より就任して政策を実行するようになりますが、国際的に大きな変化が起こると考えられます。日本への影響も多く注視しなければならないでしょう。特に貿易では影響が大きいと思います。

経済面では11月30日に開かれたOPEC総会で8年振りに原油の減産が合意された事が大きな問題と思います。中国の経済の減速とアメリカのシェールオイルの台頭によって最近原油安が続いていました。今後減産の効果により原油価格が上昇してきますが平成29年の日本の経済に影響を与えることは間違いありません。

高圧ガス容器検査の関係では、今年はバルク貯槽の20年問題が挙げられます。資料によるとバルク貯槽の生産実績は平成10年が5,000基であり平成11年が12,000基です。前倒し予定を含めて10,000基近くが20年を迎え其の内の多数が廃棄されるものと思われます。すでに相当数の廃棄がありますが年々増加していき、平成32年から36年頃までがピークとなり20,000基から30,000基になる予測です。バルク貯槽については残ガスの問題もありますが講習会で解説していきたいと考えています。

協会では昨年11月に全国高圧ガス容器検査所名簿を発刊しました。LPガス容器検査所と一般高圧ガス容器検査所が県別に掲載され符号も載っております。7年ぶりに改訂しましたので是非ご活用下さい。

最後に皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。